

【高等学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立唐津商業高等学校(全日制)
-----	-------------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学ぶ意欲を高めることにつながる授業の実践は、職員全員が一丸となって取り組む課題であり、今後もさらなる適切な進路選択につながるよう粘り強く指導を行う必要がある。 「ホスピタリティマインド(気配りができる心の持ち方)」の会得と商業性としての専門的知識・スキルの習得の両立はある程度達成できているが、他校との優位的な差別化ができるよう指導力の向上を図る。 地域社会と共存する取組は、商品開発等の取組として実践できているが、さらに地域から必要とされる学校づくりや地域の発展に役立つ能力を身に付けさせる取組を今後も行っていく必要がある。
------------------	--

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域との協働のもと、唐津の持つ様々な資源を活用した探究活動を通じて、学校及び地域のさらなる活性化を目指す。 社会や経済の持続的な発展に寄与できるビジネス教育を通して、幅広い知識と教養を身に付け、自ら考え行動する資質を育み、唐津地区・県・国の発展に貢献できる人材を育成する。 幅広い知識と教養を身に付け、自ら考え行動する資質を育み、ふるさと唐津や我が国の発展に貢献できる人材(人財)を育成する。
----------------------------	--

	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
3 スクール・ポリシー	<ol style="list-style-type: none"> ① 礼節を重んじ人を思いやる心を持ち、本校での学びに必要な学力を有する生徒を求めます。 ② ビジネスを学ぶことに興味・関心があり、専門的な知識・技能の習得や資格取得に意欲的に取り組むことができる生徒を求めます。 ③ 世の中の激しい変化に対応できるように自らを変え、成長させるため、根気強く努力することができる生徒を求めます。 ④ 生徒会活動や部活動等を通して、学校の活性化に寄与することを期待できる生徒を求めます。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 知識・技能を活用する実践力を身に付けるため、検定資格取得の機会を設けます。 ② 教育講演会や各教科・科目の授業において幅広く外部人材を活用します。 ③ 探究活動を通じて、意欲的に地域について学び、地域行事や奉仕活動に参加します。 ④ 地域産業と連携した実践的学習活動を実施します。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 様々な経済活動で役に立つ確かな知識や技能を身に付け、活用できる実践力を育成します。 ② 課題解決に必要な情報収集能力と情報分析能力を育成します。 ③ 自らの適性と世の中の動きを正確に理解し、自ら判断して行動する力を育成します。 ④ 自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳心を養成します。

4 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高校生としての生活習慣の確立 学生として学びに向かう基本的な態度を確立し、切磋琢磨しながらも向上心を持ち続ける学校集団の形成を目指す 2. 学力向上 日頃の授業を大切にし、わかる授業、考える力(論理的思考力)をつける授業の実践とともに個人の能力に応じた確で細やかな到達目標を設定し、能動的な学びを定着させる 3. 商業教育の充実 商業を学ぶ者として差別化できるだけの専門的な知識・技能の習得を目指す。また、人を幸せにするために最も必要である「ホスピタリティマインド」を会得することで、「働く」ことを意識した職業人になる自覚を持たせる 4. 地域社会への貢献 常に社会貢献の視点を持ち、学校自らの情報を積極的に発信しながら、地域産業と積極的に連携し、地域社会と共存する学校づくりを目指す
------------	--

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標(数値目標)	
●学力の向上	○基礎学力の向上と定着 ○学力診断・各種適性検査の活用による指導の改善	○家庭学習が定着したという生徒の割合85%以上 ○学力診断に基づく客観的分析の実施 問題解決できる生徒の割合70%以上	・就職試験に対応できる普通教科の基礎学力定着を重点的に指導する。 ・主体的な進路選択ができるよう、客観的データを有効に活用しながら支援を行う。
	○確かな知識と技術の習得 ○高度な資格取得	○会計科は、3年次までに日商簿記検定2級を全員取得 ○商業科情報処理コースは、3年次までに全員全商検定4種目以上の1級取得 ○商業科のAコースは、3年次までに全商検定2種目以上の1級取得	・商業科目の中で、資格取得の意識を理解させるとともに、資格の活用についても考えさせる指導を行う。 ・資格取得の有用性を考えさせる進路支援を行う。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○授業や特別活動、部活動など教育活動における様々な機会を用いて、指導を行った職員90%以上 ○SNSを適切に扱っているとする生徒の割合85%以上	・授業、特別活動、部活動等すべての教育活動において、道徳教育を念頭に置いた指導を行い、人や社会の多様性、命の大切さ、他者への思いやりを身に付けさせる指導を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの防止策について、日頃から組織的に対応していると考えられる職員の割合90%以上 ○いじめを許さない教育が行われていると考えられる生徒の割合80%	・いじめ認知、認知の定義について職員会議等で周知徹底するとともに、対応マニュアルの見直しを行う。
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に良い食事をしている」生徒82%以上	・食育だよりの発行や食育講演会の開催を通して食に関する知識や興味関心を高め、毎日の食事を大切にしている生徒を育てる。
	○健康診断後の受診率向上	○健康診断後の各検査に受診率を50%以上	・健康診断後の受診勧奨と保健指導を継続して行う。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎週水曜日を定時退勤推進日とし、夏季休業中及び冬季休業中は毎週金曜日も加える。 ・職場のペーパーレス化を推進する。 ・ペーパーのリサイクルBOXを廃止し、情報漏洩を防ぐ。
	○年休取得の推進	○年間14日間以上を取得した職員70%以上	・定期考査期間中の会議設定を極力控える。 ・部活動の計画的実施を促し、計画的に休暇を取得できるようにする。
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する教員の専門性が以前より向上したと回答した職員70%以上	・スクールカウンセラーによる校内の特別支援教育研修はもちろん、県が主催している特別支援教育スキルアップ研修を受講するよう、職員に呼び掛け、専門性を高める。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標(数値目標)	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	○★SAGAスマートラーニング指定校として実践型ビジネス教育を実施	○★月2回の外部講師の招聘 ○地元企業に求められる人材を育成する。 ○自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合90%以上、職員90%	・地元企業と連携した学習活動を行い、実践的な経験を積める機会を増やす。 ・インターシップ等を充実させ、地域と連携した魅力ある教育活動を行い、教育の成果を広く地域に伝える。
○地域貢献活動	○地域清掃・イベント活動参加を通して広く地域から支持される生徒を育成	○国スポ・全障スポのボランティア登録者1・2年生で50%以上 ○虹/松原清掃や地域の清掃活動を実施する。	・地域貢献活動を生徒に呼びかける ・国スポ・全障スポのボランティアについて周知し、補助員を含め、ボランティアへの主体的な参加を推進する。 ・職員も、役員またはボランティアとして最低1日は参加する。

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育 ★...唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望	
----------------	--